

 議会だより

なよろ

平成 30 年
9 月定例会

第 50 号

平成 30 年 11 月 1 日
発行



目 次

定例会で決まったこと	2
議決結果・賛否の分かれた議案	3
一般質問に 11 人	4 ~ 9
決算審査特別委員会の概要・総括質疑	10 ~ 11
総務文教常任委員会行政視察報告	12
市民福祉常任委員会行政視察報告	13
各委員会活動報告	14 ~ 16
議員協議会・意見書	17
きぼう・編集後記	18

題字 名寄中学校 大貝 桃花(おおがい ももか)さん

平成30年 第3回定例会 9月3日～9月28日

住宅改修等推進事業補助金
など1億682万7千円の
一般会計補正予算を可決

平成30年第3回定例会は9月3日～28日までの26日間を会期とし、22件の議案を審議しました。最終日に提案された「名寄市水道事業給水条例の一部改正」については、水道料金の改定に関わる条例改正であることから、経済建設常任委員会に付託し内容を審査することとしました。議案審議では条例改正案6件、補正予算案6件、平成29年度決算の認定について9件、意見書案5件などの審議を行いました。一般質問では11人の議員が市政に関する質問を行いました。また、西日本を中心とした集中豪雨並びに胆振東部地震における多くの犠牲者に対し、議場において黙祷をささげるとともに、議長、市長からお見舞いの言葉を申し上げました。

条例の改正等

名寄市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

国が定める省令の一部が改正されたことに伴い、放課後健全育成事業における（放課後児童クラブ）放課後児童支援員の資格要件が緩和されました。
名寄市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

国が定める基準の一部が改正されたことに伴い、家庭的保育事業実施事業所の運営に関する要件が緩和されました。

主な補正予算

ふるさと応援事業費

名寄市ふるさと応援寄附金の増に伴い、ふるさと応援寄附金発送業務委託料などの増加に対応するため990万円を追加しました。

住宅改修等推進事業補助金
住宅改修費用の一部補助について、現在の補助金執行状

況が好調であり、さらに今後の需要も見込まれることから事業を推進するため2000万円を追加しました。
ピヤシリスキー場整備事業費

ピヤシリスキー場圧雪車の定期整備において、修繕箇所が増加し修繕料が不足することから、圧雪車を整備しスキー場の適切な管理運営を行うため464万6千円を追加しました。



スキー場の整備に欠かせない圧雪車

名寄東中学校ブロック塀改修工事

名寄東中学校のブロック塀について、建築基準法の現行基準に適合した安全対策を講じるために実施した改修工事費用として111万3千円を追加しました。

林活議連

森林・林業・林産業活性化推進名寄市議会議員連盟では、東川孝義会長を先頭に8月31日に昨年度の5月に植樹したエゾヤマザクラに2度目の冬囲いを行いました。まだ植樹をして2年目ですが、エゾヤマザクラの成長を感じております。大きく成長するまでは長い年月が必要ですが、名寄市議会議員連盟一同はこれからも一生懸命、愛情を込めてエゾヤマザクラを育てていき、見守っていききたいと思います。



桜を囲い厳しい冬に備えました

平成 30 年 第 3 回定例会議決結果

議案番号	件 名	結 果
議案第 1 号	名寄市図書館条例の一部改正について	原案可決
議案第 2 号	名寄市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
議案第 3 号	名寄市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
議案第 4 号	名寄市土地改良事業分担金等徴収条例の一部改正について	原案可決
議案第 5 号	名寄市企業立地促進条例の一部改正について	原案可決
議案第 6 号	工事請負契約の締結について	原案可決
議案第 7 号	平成 30 年度名寄市一般会計補正予算（第 3 号）	原案可決
議案第 8 号	平成 30 年度名寄市国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決
議案第 9 号	平成 30 年度名寄市介護保険特別会計補正予算（第 2 号）	原案可決
議案第 10 号	平成 30 年度名寄市個別排水処理施設整備事業特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決
議案第 11 号	平成 30 年度名寄市食肉センター事業特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決
議案第 12 号	平成 29 年度名寄市一般会計決算の認定について	認 定
議案第 13 号	平成 29 年度名寄市国民健康保険特別会計決算の認定について	認 定
議案第 14 号	平成 29 年度名寄市介護保険特別会計決算の認定について	認 定
議案第 15 号	平成 29 年度名寄市下水道事業特別会計決算の認定について	認 定
議案第 16 号	平成 29 年度名寄市個別排水処理施設整備事業特別会計決算の認定について	認 定
議案第 17 号	平成 29 年度名寄市食肉センター事業特別会計決算の認定について	認 定
議案第 18 号	平成 29 年度名寄市後期高齢者医療特別会計決算の認定について	認 定
議案第 19 号	平成 29 年度名寄市病院事業会計決算の認定について	認 定
議案第 20 号	平成 29 年度名寄市水道事業会計決算の認定について	認 定
議案第 21 号	名寄市水道事業給水条例の一部改正について	閉会中審査決定
議案第 22 号	平成 30 年度名寄市一般会計補正予算（第 4 号）	原案可決

（賛否の分かれた議案）

（賛成） ×（反対） 欠（欠席） 退（退席）

議案番号	件 名	議員名	議 員																		
			市民連合・凜風会					市政クラブ			議 公 共 新 無 名	議 公 共 新 無 名	議 公 共 新 無 名	議 公 共 新 無 名	議 公 共 新 無 名	議 公 共 新 無 名					
議案第 12 号	平成 29 年度名寄市一般会計決算の認定について	欠	浜田康子	山崎真由美	奥村英俊	高野美枝子	佐久間誠	熊谷吉正	佐藤靖	東川孝義	塩田昌彦	山田典幸	佐々木寿	東千春	黒井徹	高橋伸典	川村幸栄	大石健二	川口京二	野田三樹也	
議案第 13 号	平成 29 年度名寄市国民健康保険特別会計決算の認定について	欠															×				

公（公明） 共（日本共産党） 新（新緑風会） 無（無所属の会） 名（名風会） 議（議長） 議長は表決に加わりません。

一般質問

市政全般について考え方や方針などを市長等に質問します



持続可能なまちづくりを

市政クラブ 東川孝義 議員

健康寿命の延伸対策は

問 地域包括ケアシステムの構築に向けて、第7期高齢者保健医療福祉計画策定時に、実施したアンケート調査結果の対応は、フレイル予防の具体的な取り組みは。

答 なよる健康マイレージ事業は、市の広報やホームページの掲載、各団体の総会等において周知に努めてきた。地域包括支援センターの周知も医療機関や民生・児童委員、介護サービス事業者と連携しながら、市民周知に努めているが、認知度は高い状況になく、様々な機会を通じて周知に努める。フレイル予防については、嚙呼体操のDVDを各町内会へ配布する等、今後介護予防教室を中心に、健康維持への取り組みを進める。

問 公共施設等の個別計画は

問 公共施設等総合管理計画の施設縮減目標値の根拠と老朽化する施設の維持管理、個

別施設計画の策定めどは。

答 施設縮減の目標値は20年後の人口推計を基に13%としている。老朽化への対応は、施設の利用状況や基金の活用等、財源対策も検討し優先順位のもと対応していく。個別施設計画の策定は、平成32年度策定に向け、取り組みを加速していく。

他の質問・まち・ひと・しごと創生総合戦略交付金事業の評価と、まちなかお試し移住住宅の活用等について



医療と介護の情報共有できめ細かなサービス提供を



スポーツの力で健康都市を

市民連合・凜風会 山崎真由美 議員

スポーツ・健康都市宣言を

問 総合計画（第2次）では、総合戦略とリンクして冬季スポーツの拠点化を柱に、まちづくり・人づくりが進められている。市民皆スポーツによる健康づくりにつなぐためにも平成19年制定の「健康都市宣言」を基盤に、更なる定着と飛躍を祈念し、「スポーツ・健康都市宣言」を制定することが有効であると考えるが。

答 既に「健康都市宣言」の文中において「市民一人ひとりがスポーツ・文化・自然に親しみ、さらなる健康づくりを推進するため」と謳われている。冬季スポーツを含めた様々なスポーツ振興を図ることの究極的な目的は、市民の健康づくりを進める一つの手立てと考えている。当面は現行の「健康都市宣言」を堅持していく。

問 市民に身近な国際交流推進を

名寄・リンゼイ姉妹都市



リンゼイ、ナヨロパークにて総領事表彰が行われた

他の質問・河川の雑木処理は行政も支援していく。

答 友好委員会を中心に準備が進められており、記念式典の開催や訪問団の受け入れ、記念誌の発行、浅江島公園への記念碑又はモニユメントの設置などが計画されている。また、生きた英語を学び国際感覚を磨くイングリッシュキャンプも計画されており、行政も支援していく。

一般質問

質問・答弁の原稿は質問者本人がまとめたものです

問 年間に必要な公共事業費は大型公共事業が充足しつつある中で、普通建設事業費は過去5年間でピーク時の平成27年度の49億1500万円と対比すると平成30年度（当初予算額）は23億円も減少している。厳しい経営を迫られる建設土木業界を支えるため今後、必要な公共事業費額は、土木・箱ものを含めて年間で最低でも約20億円は必要か。

答 低入札落札時の価格調査は、今後、発注減による受注競争の激化で過度な低価格の受注が多くなることが予想される。低入札で落札した業者が良質な工事等を行えるのかの調査は行っているのか。

答 低入札調査基準価格を設けており、低入札で落札された場合は必ず聞き取りを行っている。一定の基準を満たさない場合は無効としている。

問 孤立する80・50問題の調査は、年老了いた80代の親の家に、



市民が主役のまちづくり

新緑風会 大石健二 議員



保育所のオムツ持ち帰りルールに一石を投じる

問 さまざまな事情を抱える中高年の子どもが親の年金などの収入を頼りに同居し、地域とのかかわりが希薄で無職で無収入の中高年代の実態を把握しているか。

答 生活相談センターで問題に該当する相談が4件あるが、潜在的な家庭の状況把握までには至っていない。

他の質問・平成29年度各会計決算の黒字の内訳、保育所での使用済みおむつの処分、小中学校にエアコン設備を

問 通学路安全推進会議の設置。文部科学省から依頼のあった「学校施設におけるブロック塀等の安全点検等の状況調査」の結果と今後の対策は。

答 調査結果は、名寄東中学校に3か所設置されていた塀のうち、体育館北側と自転車置き場の塀が設置基準に満たないことが判明。改修工事等の対応までの間、不適合の塀周辺にロープを張り、「立ち入り禁止」を表示し夏休み期間に基準適合工事を完了した。今後は通学路の安全対策を推進するため、名寄警察署・道路管理者・校長会・PTAなど関係機関をメンバーとした「(仮称)名寄市通学路安全推進会議」を設置する。

問 小児がんは年間の発症率が低く本人が意思表示できないため、医療機関受診の遅れが懸念される。小児がんの中



通学路の安全性確保を

公明 高橋伸典 議員

白色瞳孔の特徴

両眼性と片眼性があり、ほとんどが5歳までに診断される

網膜芽細胞腫の「白色瞳孔」の発見のため市民周知を

でも網膜芽細胞腫は「白色瞳孔」「斜視」の症状が現れるので乳幼児健診で対応を。

答 乳幼児健診は総合的な観点で見るのが基本だが、市では市立総合病院の小児科医が子ども一人一人を丁寧に診察している。悪性腫瘍の一つ「網膜芽細胞腫」を、早期に発見すべき重要な疾患の一つとして念頭に置き、様々な目の疾患の早期発見に向け診断する。

他の質問・eラーニングシステムの導入、徳田18線緑丘連絡線の安全対策

一般質問

市政全般について考え方や方針などを市長等に質問します



急がれる暑さ対策

市政クラブ 塩田昌彦 議員

教育環境の現状について

問 近年、異常気象がもたらす気温の変化により、学校授業に影響が及んでいる。学校によって対応状況が異なっているが、教育委員会の見解について、また、校外学習に使用するスクールバスの運行や配車の基準及び制限の見直しについて。

答 全ての学校のパソコン教室にはエアコンの設置が完了しているが、普通教室では網戸を順次設置し、扇風機を併用して換気を行っている。教育委員会では、扇風機購入の予算措置をしていないが、子どもたちが良好な環境の中で授業が受けられるよう、対応を検討する。また、校外学習におけるスクールバスの使用申請など、十分な調整を図り効率的な運行に努める。

問 新築戸建住宅の地元受注の現状と対策について

新築戸建住宅の地元受注

の減少による影響への認識と影響回避のための、具体的な対策について。

答 近年、新築戸建住宅の地元業者への受注が減少傾向にあり、特に平成29年度では発注割合が20%まで減少した。市内業者における人材育成や確保及び継続した雇用など、経済の地域内循環の観点から、経済効果の大きい新築住宅も含めた検討を進める。

他の質問・リハビリ教室廃止の影響について、福祉施設等における暑さ対策の現状について



学校教室の暑さ対策



水害対策は喫緊の課題

市政クラブ 東千春 議員

水害防止と避難対策について

問 天塩川、名寄川の管理、サンルダム供用開始時の効果、豊栄川遊水地の進捗状況は。

答 名寄川では立木の維持伐開が行われており、天塩川、名寄川の合流点付近では土砂掘削が計画されている。サンルダムは最大約1m10、最小約40の水位低下の効果がある。豊栄川遊水地の工事進捗は90%で早期完成を要望する。

問 JR宗谷本線と公共交通は国からの支援策と自立経営について、今後の宗谷本線活性化推進協議会の対応について、JRを含む公共交通網の考え方は。

答 国は二年間で400億円の支援を決め、JRは取り組む姿勢を示すが、自治体は財政スキームが明確ではなく今後の議論となる。道北の雄大な景色と食を活かしたツアーなど魅力と情報発信に取り組

みたい。交通網ではそれぞれの交通機関が連携補完したシームレスな交通確保に努めたい。

問 名寄市の雇用について

答 都市部の公共工事増加の影響や雇用のミスマッチもある。介護職等では助成制度による効果もあった。インターシップや資格取得の助成、商工団体と連携しUターンへの取り組みを進めたい。



改装が進む名寄駅

一般質問

質問・答弁の原稿は質問者本人がまとめたものです

問 潤いを与える緑化への認識問う
 ここ数年、街中に潤いを与えてきた木々の伐採が目立つ。10年間の市街区伐採状況及び今後の考え方は。
答 10年間で約300本の伐採を行った。捕植は約20本。道路整備に合わせ植栽したのもある。今後も緑豊かな魅力あるまちなみ形成の推進に努める。

問 名寄地区市街地活性化と財政
 平成11年以降、徳田地区にショッピングセンター、大型店が続々と開設され、その都度、名寄地区中心市街地の活性化が求められているが、一向に成果が現れていない。近く、大型ホームセンターのオープンも予定されており、今後どう対応されようとしているのか。また、29年度末の基金残高をみると、65歳以上となっても安心して暮らせる名寄づくりのための予算は惜しまず、市民ニーズに応える



市民連合・凜風会 佐藤靖 議員

街中から消える「みどり」



樹木がまったく無くなった南小学校

べきではないか。
答 これまでさまざまな施策を展開してきた。大型ホームセンター開設は、小売店舗に一定の影響を想定している。策定中の立地適正化計画などにおいて中心市街地の役割やあり方を検討するとともに、時代に合った支援制度改正などを行う。限られた財源のもと、市民ニーズを的確に把握し、明るく元気なまちづくりを目指す。

問 名寄市の災害対策について
 西日本豪雨は1府14県で230人以上の被害者が。名寄でもその可能性はあるのか。9月6日未明に起きた地震と停電による被害の状況は。
答 名寄市は被災地と地形が似ており同じような被害を受ける可能性はある。北海道内でも大きな災害が身近に起きている。停電の影響による生乳廃棄被害が概算で700万円。観光・宿泊施設でも一事業所当たり数万円から100万円程度の被害があった。被害総計については今後商工団体と集計する。

問 高齢化社会に対応するために
 フレイル予防について。
 高齢になっても、認知症になっても安心して暮らせる名寄市を現実のものとする取り組みについて。
答 元気会・介護予防教室では「嚙呼体操」、講演会、歯科医や市立大学の栄養学科と協



市民連合・凜風会 高野美枝子 議員

停電被害七百万以上



認知症になっても安心な名寄

働した講座の開催、市立総合病院専門職による地域リハビリテーション活動支援事業など、地域包括支援センターによる多種職連携を図り予防対策を進めている。高齢者保健医療福祉計画・介護保険事業計画第6期に引き続き第7期においても認知症対策の推進を第一に地域包括ケアシステムの推進に取り組む。

他の質問・国際交流事業について、国際交流の意義・事業での人材育成・市民レベルでの交流の重要性について

一般質問

市政全般について考え方や方針などを市長等に質問します



安心安全なまちづくりを

名風会 野田三樹也 議員

防災対策について

問 全国的に災害が発生し多くの被害が出ている。本市においてもいつ災害が発生するかわからない状況である。毎年防災訓練を実施しているが、どのような成果が出ているのか、そして今後の課題を伺う。

答 本市では、年に1回を目安に防災訓練を実施し、平成29年度からは浸水深の深い地域を対象に避難訓練を実施しており、避難行動を行う上で、避難における課題の発見、想定最大規模の降雨の理解を深め、地域住民の避難能力の向上を図ることを目的として実施している。今後の課題として、いつ災害に襲われるかわからない状況となっているので、避難の重要性などについて広く周知などに努めていく。

交通安全対策について

問 全国的にも自転車運転しながら携帯電話を操作することにより歩行者と接触し、

怪我や死亡事故が発生していることが問題視されている。本市においても発生する可能性が高いと考えているが考え方を伺う。

答 自転車の交通安全においては更なるマナー向上に向けた取り組みが必要と考えており、今後も自転車対策を重要課題と位置づけ、「自転車安全利用五則」をはじめとする交通ルールの遵守やマナー向上の普及啓発に努める。



家族で避難所の確認を



市民と共に宗谷本線存続

市民連合・凜風会 奥村英俊 議員

存続を前提に取り組む

問 JR北海道に対する「経営改善」と2年間で400億円の支援、地元負担に関する考え方やび利用促進策と将来展望について伺う。

答 国が示した400億円と同水準の自治体負担については北海道の厳しい自然環境や長大な路線状況などを考慮し、地方財政措置の担保を強く要望している。利用促進と将来展望については、車両の更新による稚内・札幌間の直通便の復活やさらに利用しやすいダイヤの構築、旭川空港への列車接続など、引き続き宗谷本線の存続を前提とした取り組みを協議会全体で進めていきたい。また、東風連駅の移転については地域と協議の上、考え方を伺いながら検討していきたい。

移住・定住施策の拡大を

問 就職者への家賃補助や医療費無料化拡大による定住促

進への考えについて問う。

答 名寄市の定住対策はまちなかお試し移住住宅などの取り組みで3組の移住実績となっている。移住・定住の促進と人材確保に向けては家賃補助や医療費無料化拡大、住宅改修施策の見直しも含め本市の様々な施策とも連動し人材育成や雇用の安定、地域経済の活性化につながるよう移住・定住の促進と人材確保に努めていきたい。



直通便の復活や新たなダイヤ構築には車両の更新が不可欠

一般質問

質問・答弁の原稿は質問者本人がまとめたものです

問 性暴力被害者ワンストップ支援センター（札幌）を全中高生に周知し、デートDVの情報提供の徹底も必要では。
答 「性暴力」はレイプ・DV・セクハラ・痴漢・わいせつ行為などが該当。相談内容も多岐にわたる。専門の訓練を受けた相談員、医療機関、弁護士、行政、警察が連携して支

男女共同参画推進計画を前へ



どんな差別も許さない

日本共産党 川村幸栄 議員



家事や育児と仕事との両立を女性の問題とすることこそ差別では。

他の質問・観光推進にマンホールカードを

問 入試や教員採用、政策等の企画立案・決定の機会などあらゆる場面で男女の差別なく個人の能力などにより選考。毎年学生や教職員対象に、人権擁護、ハラスメント全般に関わる研修会を大学の人権擁護委員会主催で開催している。
答 入試や教員採用、政策等の企画立案・決定の機会などあらゆる場面で男女の差別なく個人の能力などにより選考。毎年学生や教職員対象に、人権擁護、ハラスメント全般に関わる研修会を大学の人権擁護委員会主催で開催している。

問 障害者雇用促進法に関わって
答 中央省庁での障害者雇用水増しは、障がい者を含む国民の働く権利を侵害した大問題。名寄市の現状と今後の考えは。
問 中央省庁での障害者雇用水増しは、障がい者を含む国民の働く権利を侵害した大問題。名寄市の現状と今後の考えは。
答 名寄市における実雇用率は2・39%。職員採用の枠組みの中で、可能な限り障がい者の採用機会の拡大を図るよう努める。



住民の声で議会の活性化を!!
議会を傍聴しませんか!

定例会は3月・6月・9月・12月の年4回、また、臨時会も必要に応じて開催されます。
 ◇議場での音声を鮮明に聴くため、携帯型受信機を用意しています。
 ◇問い合わせは議会事務局（☎ 01654-3-2111）へお申し出ください。

平成29年度決算審査特別委員会

平成29年度の決算を認定

第3回定例会において、平成29年度の各会計決算について、全議員で構成する決算審査特別委員会を設置し内容を審査しました。

第1回委員会を9月3日に開催し、委員長に東川孝義委員、副委員長に山崎真由美委員を選出しました。

第2回目以降は、9月25日から28日の4日間の実質審議に入り、各会派の代表による総括質疑並びに委員による質疑が行われ、男女共同参画、身近に迫る災害対策、福祉行政、健康増進や医療、農業に関する施策、教育、病院事業などの課題について、事業の成果と今後の展望、さらには、市民生活の向上につながる事業の継続や改善を求めるなど、適正な予算執行にかかわって慎重な審査を行いました。

審査の結果、全会計決算中、一般会計及び国民健康保険特別会計について賛成多数に

より、その他の介護保険、下水道、個別排水、食肉センター、後期高齢者医療の5特別会計と病院事業会計、水道事業会計を全会一致で認定しました。

委員会としては、各会計決算はいずれも正確に収支が行われ、予算の執行が適正であったことを認め結審しました。



東川孝義委員長(左)と山崎真由美副委員長(右)

決算審査特別委員会での質疑の一部を掲載します

男女共同参画事業費

問 事業を推進するには周知が重要と考えるが市の対応は。

答 広報などを活用し周知を継続している。また、昨年は男女共同参画推進委員と共に街頭啓発も行ってきた。女性への暴力根絶も含め今後も効果的な啓発ができるよう検討していく。

新規就農者支援事業費

問 H29年度に制度が見直されている。見直し後の事業評価は。また、法人化への支援は。

答 H29年度は2件の制度活用があり、新規就農につながっている。法人化の推進に向けては研修を実施しているほか、農業法人の優良事例の視察も企画しているが、具体的な支援までには至っていない。今後も地域の農業課題解消に向けて取り組んでいきたい。

屋根雪おろし安全確保特別対策事業費

問 事故防止に効果が出ている事業。これまでの評価と今後の課題は。

答 お年寄りの事故防止に効果を発揮していると認識している。課題であったおろした雪の処理も今年度からは対象とする。利用者や対応事業者からも意見をいただきながら使いやすい制度となるよう検討する。

学生募集対策事業費

問 市立大学の学生募集、PRに関わる各種事業の成果と効果は。

答 近年の入試志願倍率が4倍台で推移していることから成果があると考えている。各種媒体への広告掲載も大学の認知度アップにつながっている。今後も費用対効果を考えながら事業実施していく。

決算審査特別委員会総括質疑



決算を踏まえた財政展望は

市民連合・凜風会 熊谷吉正 委員

財政展望と各種事業について

問 新公会計化への進捗と将来にわたるコスト見直しは。

答 総務省の統一的基準による財務書類等を委託して整備中であり、固定資産台帳の更新等は今年度末に完成を見込んでいます。

問 財政健全化比率等は健全に見えるが、大学も含め大型投資の起債償還と今後の公共施設の耐震化や、市役所庁舎、学校施設等の更新を想定すると厳しい。今後の財政展望は。

答 今後は財政調整基金等を前提にした中期財政計画になる。地方交付税の減少も念頭に後年度に負担を残さず健全な財政運営をしていく。

問 住宅改修事業は助成額の10倍の事業効果がある。利用効果を高め、市民との協働事業、基幹事業への展望を問う。

答 市民の満足度を高め、限られた財源を活かすためさらに意見をいただいきたい。

問 超高齢化社会を踏まえた地域包括ケアシステムの構築体制の評価と課題を問う。

答 高齢者が安心して生活するために必要な、保健、医療、福祉、介護体制等を深化していくために庁内の連携を強め計画の実行を高めていく。

問 指定管理制度の現状と第三者評価導入について問う。

答 現在は、34施設15団体に指定している。都市部と違い競争性に欠けるが評価点数、選定理由等、公平、公正に実施しながら検討していく。



事業効果の高い住宅改修事業をもっと育てよう！



決算の評価と財政動向について

市政クラブ 山田典幸 委員

29年度決算の評価について

問 平成29年度の事務事業の執行に対する総体的な評価についての見解は。

答 市民の要望やニーズを把握し、新たな事業や拡充した事業などを積極的に取り組んだ。風連中央小校舎改築事業や市立大学保健福祉学部再編事業など、未来への投資についても着実に実施し、市民にも一定の評価を頂ける決算と考えている。一方で財政調整基金の繰り入れや、経常収支比率の増加など、課題を抱える決算でもあった。引き続き財政規律を遵守し健全な財政運営を行うことが重要と認識している。

問 財政の現状と今後の動向は

答 地方交付税の今後の動向と推移について。

問 合併算定替えによる優遇措置の縮減や、トップランナー制度導入の影響により今までと同様の交付額確保は難

しく、楽観的な推計は出来ないと認識している。

問 合併特例債の今後の運用についての考え方は。

答 借入れ可能残額は9億7390万円。平成37年度までの発行期限内においてどのような事業に優先的に活用するか、今後の総計議論等において事業の厳選に努める。

問 当該年度決算を終え、基金残高は一般会計、特別会計合わせて約97億4000万円となった。今後の基金の運用についての考え方は。

答 今後は今以上に基金に依存することが想定されるため、財政規律において財政調整基金と減債基金を合わせて18億円以上の残高確保に努める。



総合計画および総合戦略の着実な推進を

総務文教常任委員会視察報告

網走市・帯広市・釧路市・幕別町

当委員会は、7月2日から4日までの3日間で4自治体5か所の視察を行いました。

日本体育大学附属高等支援学校は網走市と連携し閉校となった教育施設を活用して国内スポーツ教育を主軸とした知的障がい者の特別支援学校として平成29年に開校しました。パラスポーツが注目を集める中で当市でも福祉との連携により取り組みを充実させることで冬季スポーツの拠点化が深みを増すことが期待できると感じました。



日本体育大学附属高等支援学校校長と共に

年に建設されました。建設位置の選定では適正規模を想定し、交通の利便性、中心市街地活性化に貢献できる場所等の観点で民間ビルの新築計画に賃貸入居としました。管



屋内陸上競技施設を見学

釧路市中央図書館は老朽化と資料保存の限界から平成30

理運営は指定管理として行っています。当市においても民間活力の有効利用等検討要素の参考になりました。



釧路市立中央図書館にて

釧路市公共施設等見直し指針では公共施設の老朽化により改修や更新で費用の増大と集中が予想されることから建物状況、利用状況、運営状況等を把握し総合的・戦略的・経営的な公共施設の見直しから、平成22年度に釧路公立大学地域経済研究センターとの共同で「釧路市の都市経営の在り方に関する提言」をまとめました。当市でも目標を明確化し市民の理解と協力が得られる計画が必要だと感じました。



幕別町図書館にて説明を受ける

帯広市「こども学校応援地域基金プロジェクト」では地域ぐるみで子どもを育む「学校支援地域本部事業」放課後子どもひろば「子どもの見守り活動」などの活動を緩やかにくり、寄付金を募り活動支援を行っています。当市においても地域で子どもを育てるためのより良い環境づくりの参考になりました。

幕別町図書館では三つの力として ネットの力 人材の力 本棚の力を有機的につなげて利用者ニーズに応える情報サービスの拠点を目指しています。職員の様々な企画の展開は当市においても参考にできるものでした。

市民福祉常任委員会視察報告

留萌市・札幌市・砂川市

当委員会は、7月2日から翌3日までの2日間、留萌市の「農業と福祉の連携による6次産業化について」、札幌市の社会医療福祉法人・愛心メモリアル病院の「病院食に対する取り組みについて」、砂川市の「認知症に関する取り組みについて」、それぞれ研修視察を行いました。



農福連携の作業状況を視察

留萌市幌糠農業・農村支援センターでは、平成25年に高齢農家と障がい者の支援として、「手切り干し大根」を製造し就労支援の取り組みを開始。6次産業化の取り組みでは、関東圏のスーパー・道内の生協で販売、干し大根入りパンの商品化を実現しています。名寄市の農福連携は、障がい者の特性を生かした就労確保について、相互連携により課題解決を図りながら、事業化へつなげていくことが求められています。

愛心メモリアル病院では、病院食の「まずい」「味気ない」という負の印象の払しょくに取り組んでいます。同院は、まず手始めに病院食の阻害要因である「食材の制限」と「費用の壁」の打破に着手。この打開策として同院は、札幌中央卸売市場で直接買い付けることで経費節減を図り、安価で鮮度の高い生魚や生野菜

の提供で費用の壁と食材の制限についての取り組みを試みています。同院での視察からは、費用や食材などから正しく評価する第三者機関の設置とその仕組みづくりの必要性を痛感。また、私たちも病院食に強い関心を持つことで改善につながると改めて実感しました。



評価の高い愛心メモリアル病院の病院食

砂川市立病院では平成16年に「物忘れ外来」の診療を開始し認知症に関する啓発事業を開始。同市の認知症初期集中支援チームは、平成26年に

当委員会は、今視察で得た知見をもとに、第7期高齢者医療福祉計画等の課題である地域包括ケアシステムの实效性をより高めていくために市民や行政とも連携を深め、継続的に取り組んでいきます。



砂川市立病院にて認知症を学ぶ

道内では2番目となる地域包括支援センターに設置され、医療系訪問担当者と介護職員及び認知症サポート医3人で行動する、究極の「おせっかいチーム」で早期の発見・治療・介護につなげていきます。

総務文教常任委員会活動報告

総務文教常任委員会では第4回委員会を6月25日に開催し財務省から派遣された松岡将名寄市参事監から「2年間の振り返りとこれからについて」をテーマに説明を受けました。財務省での「派遣者報告会等報告」で名寄市の取り組みの紹介、また地方創生・地方財政の展望について伺い意見交換をしました。



松岡参事監から多くの示唆をいただく

第5回委員会は7月12日に開催しこれまでに視察等で図書館について研究したまとめ

方について協議しました。委員会として報告のあり方について確認し細部のテーマについて意見の交換と協議を行いました。次回は市立名寄図書館の現状と課題、風運分館の中央小学校移設について説明を受けることを確認しました。



改修された東中学校のブロック塀

第6回委員会は8月3日に開催し東中学校のコンクリートブロック塀への対応について説明を受けました。その後、鈴木図書館長から現在の図書

館の現状と課題について説明を受けました。第5回でまとめのテーマについて出された意見を項目ごとに分けて今後の議論の進め方を確認しました。

第7回委員会は8月17日に開催し各部からの報告を受けました。大学からは新たな取り組みとしての小学校のオープンキャンパスについて他2件を、総務部からは名寄市地域公共交通活性化協議会の報告について他2件を、教育委員会からは定例会提出予定の条例改正(案)の概要について説明を受けました。その後図書館の立地場所についての意見交換を行いました。

第8回委員会は8月29日に開催し、「大学図書館の役割と市立図書館との連携」について西田大学図書館副館長の出席を求め調査を進めました。新大学図書館の建設に伴う利用者増の状況や、検索システムの連携を図り横断的な検索が可能となった、などの説明を受けました。また、役割の明確化と市民利用についてのなどの意見交換を行いました。

議会日誌 7~9月

7/4	全国市議会議長会基地協議理事会(東京都)	8/1	委員長会議	9/3	平成30年第3回定例会開会 決算審査特別委員会 議員協議会
7/10	委員長会議	8/3	各会派代表者会議 議員協議会	9/10	経済建設常任委員会
7/12	総務文教常任委員会	8/10	市民福祉常任委員会	9/12	総務文教常任委員会
7/13	議会報特別委員会	8/17	総務文教常任委員会	9/13	議会報特別委員会
7/30	経済建設常任委員会	8/22	経済建設常任委員会	9/19	議会運営委員会
7/31	市民福祉常任委員会	8/23	市民福祉常任委員会	9/21	議員協議会
	全国市議会議長会基地協議会 北海道支部役員会(旭川市)	8/28	各会派代表者会議	9/25	決算審査特別委員会(~28日)
		8/29	総務文教常任委員会	9/26	議会運営委員会
		8/31	議会運営委員会 議会報特別委員会	9/28	定例会閉会 議会報特別委員会

市民福祉常任委員会活動報告

当委員会では6月26日、7月30日、8月10日、8月23日、10月10日に委員会を開催しました。市民部税務課からは、道市長会で発表された「平成29年度道内都市の市税収納状況調査」について、市税総合では98・8%で7年連続の道内第1位、現年度課税分も99・3%で6年連続第1位であることが報告されました。



市民の協力が必要な老朽危険家屋

環境生活課からは、市内の空き家の現況について、平成26年度の相談件数等が3件から平成29年度には53件と大幅に増えているため、管理されていない空き家についても今後、特定空き家への指定や解体等の支援についても助案していく旨の報告がありました。

健康福祉部保健センターからは、「名寄市生きるを支える自殺対策計画」の策定「条例制定」等について「だれもが自殺に追い込まれることがない社会の実現」を目指し包括的な支援として、保健、医療、福祉等の関連施策と連携をはかり、総合的に実施していく旨の説明がありました。

名寄市立総合病院栄養管理室からは、「病院食に関する現状」について、管理栄養士5名はじめ、栄養士、調理職員ら41名のスタッフで構成され、毎食数232の病院食を、一般食31種類、特別食69種類で調理しているなどの説明がありました。

このほか当委員会として今年度の道内視察先及びテーマについて、留萌市の「農業と福祉の連携による6次産業化について」、札幌市、愛心メモリアル病院の「病院食に対する取り組みについて」、砂川市の「認知症に関する取り組みについて」に決定し、7

月2日、3日に視察を行いました（別途報告）。さらに、今年度からスタートしている「第7期保健医療福祉計画・介護保険事業計画」に基づく「地域包括ケアシステム」の実効を高めていくために、行政とも連携しながらこれまでの先進地視察結果や地域ケア会議、市民ニーズを検証しながら委員間論議を重ねています。



定員充足に取り組む しらかばハイツ

議会スナツプ 風連ふるさとまつり

「第40回風連ふるさとまつり」が8月12日、13日の両日開催されメインイベントの「風舞あんどん」に議員有志で参加。あんどんを担ぎ威勢よく練り歩きました。当日の出陣式は強い雨でしたが、有門実行委員長の「皆さんの元気で雨を吹き飛ばし、市民を楽しませてほしい」との挨拶があり、始まる頃には強い雨も止みました。風連御料太鼓の力強い演奏を先頭に13団体14基のあんどん、464名の担ぎ手により沿道を埋めた大勢の観衆を魅了しました。光り輝く絵巻と担ぎ手に観衆から盛大な声援が送られました。



議員有志で風舞あんどんに参加

経済建設常任委員会活動報告

7月30日に開催した委員会では建設水道部から都市計画マスタープラン見直し及び立地適正化計画の策定について、経過と今後のスケジュール、都市計画審議会及び立地適正化策定委員会の概要について、サンルダムが来年3月には送水可能となること、市道の陥没によるタイヤパンク事案が発生した旨の説明を受けました。



天牛の肥育状況を視察

経済部からは農作物の生育状況が7月初旬の降雨や日照不足によりやや遅れ気味であること、農業労働力確保対策事業として名寄市立大学生36人がアスパラ収穫、スイートコーン移植等の作業を実施し

たこと、農地法第3条に係る下限面積を農業者以外の移住者等も取得しやすくするため2ヘクタールから1アールに変更する方針を定めたことが説明されました。また、北海道林業大学校誘致の概要について、平成30年度中学生台湾交流事業の概要について報告を受けました。

8月22日には、函名TPファームにおける廃用牛飼育事業、新たな雪堆積場の設置経過、水稲の生育状況、風連中央小学校改築事業の進捗状況等について現地を視察し説明を受けました。その後の協議では、経済部から名寄市土地改良事業分担金等徴収条例の一部改正、名寄市企業立地促進条例の一部改正、一般会計および食肉センター事業特別会計の補正予算の説明に引き続き、アライグマ等の現状について報告を受けました。建設水道部からは道路陥没によるタイヤ破損事故の専決処分、上下水道事業経営審議

会の経過報告、個別排水処理施設整備事業特別会計補正予算について概要説明を受けました。

9月10日には、なよろ温泉サンピラー改修基本設計についてスポーツ・宿舎推進課担当者から、冬季スポーツ拠点化事業の中での位置づけとして、日進地区を選手育成の場所として活用することについて、また、ナショナルトレーニングセンターのあり方としてはトレーニング環境、医科学のサポート、食堂の配置、宿泊施設、その他地域のスポーツ振興が図れるような取り組みが必要であること。宿泊では、一般の方も利用できるような施設として、利益が上がるような取り組みも必要等の意見交換を行いました。



水稲の生育状況について現地確認

議会運営委員会活動報告

平成30年第3回定例会の日程及び議事運営等を協議するため、8月31日及び9月19日、9月26日に委員会を開催しました。

8月31日の委員会では、会期を9月3日から28日までの26日間とすること、一般質問は19日に4名、20日に4名、21日に3名、合計11名の議員が登壇することを確認しました。上程議案は20件で、議案第12号平成29年度名寄市一般会計決算の認定についての外、6特別会計決算と2企業会計決算を全議員で構成する決算審査特別委員会に付託し審査することとしました。26日の委員会では、最終日の本会議の議事日程及び議案等について協議、2件の追加議案について審議することを確認し、議案第21号名寄市水道事業給水条例の一部改正についてを経済建設常任委員会に付託し審査することを確認しました。

議員協議会（9月3日、21日）

9月3日と21日に議員協議会が開かれました。3日には、名寄市総合計画（第2次）中期計画についての説明、また名寄市社会福祉事業団の経営状況について各施設の利用状況などの説明が行われました。21日には、水道事業の経営状況についての説明が行われ、平成20年度から平成29年度までの経営状況、水道事業が抱える課題について、平成31年度以降の事業計画と経営の見通し、水道料金改定の考え方などについて、上下水道事業経営審議会での資料も示しながら説明がありました。



9月21日開催の議員協議会

市議会からのお知らせ

市議会では、議会基本条例に基づいて、市民の皆さんに議会の活動に関する情報公開を積極的に行っています。

本会議の会議録を公開するとともに、常任委員会、議会運営委員会及び特別委員会の概要、議会中継（録画含む）も市議会ホームページでご覧

いただくことができます。（アドレスは最終ページに記載しています。）

《その他に掲載している項目》

- 議会の各委員会等の構成
- 会議開催のお知らせ
- 議長交際費の公開
- 政務活動費の公開
- 請願・陳情について
- ほか

第3回定例会で次の意見書を提出することに決定しました。

- 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書
- 学校施設や通学路におけるブロック塀等の安全性確保を求める意見書
- 児童虐待防止対策のさらなる強化と児童相談所の強化を求める意見書
- 道教委「これからの高校づくりに関する指針」を抜本的に見直し全ての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書
- 主要農産物種子法の新たな立法を求める意見書

議会スナッパ

士別市・名寄市
合同議員交流会

8月28日に士別市議会と合同で交流会を開催。同会は自治体の広域連携が進み、共通課題などで情報共有する目的で年一回開催しています。名寄市立大学の佐古学長による「地方創生における大学の役割」と題した講話では、急激な日本の人口減少、首都人口比率の高さ、教育費の公的支出割合の低さ等をデータで紹介。名寄市立大学の地元定着策、日本版CCRCの可能性などについて話され、議員が熱心に学びました。講話のあとは新しくなった図書館と学生食堂を見学。名寄温泉サンピラーで意見交換会を行いました。



共通のテーマについて学び交流を深めました

CCRC：元気なうちに地方に移住し、必要な時に医療と介護のケアを受けて住み続けることができる場所。

☆ き ぽ う ☆



簡単なセキュリティ
おがさき ひろき
 名寄市東4条北3丁目 岡崎 広樹

近年は空き巣の被害が増えてきて後を絶ちません。私は30年余り警備システムに携わってきましたので、皆様に役に立てて頂ければと思いお話をしたいと思います。泥棒は行き当たりばったりでは侵入しません。綿密に計画を立て、建物の死角や隣近所の位置関係等を調べます。心理的には、風景に馴染むような服装風貌にし、外から玄関や勝手口が見えないところ、夜間家の周りが暗いところ、夜になっても洗濯物が干したままになっているところ等が狙われやすくなっています。被害に遭わないために、ドアや窓に補助錠の設置、家の死角をなくすことや周囲に玉砂利を敷いて音がするようにしたり、センサーライト等も設置をするのも良いと思います。これからも被害に遭わないよう気を付けましょう。私自身も皆様のために微力ながら少しでもお役に立てればと考えております。



社会福祉を学んで
ひらま めいり
 名寄市西4条北8丁目 平間 萌理

私は、名寄市立大学社会福祉学科に在学しています。気付けば大学生生活も残り半年となり、名寄での生活もわずかとなりました。

名寄市立大学で、主に社会福祉について学んできました。社会福祉は、すべての人がよりよく幸せに暮らしていくことができるように、社会資源を活用したり調整したりしていきます。名寄市をフィールドにした実習や、名寄市の資源を活用した講義などが行われ、社会福祉を学ぶだけでなく名寄市を知るきっかけになりました。街やそこに住む人のことを知らなければ、適切な支援を行うことができないことを理解しました。それと同時に、名寄の人の温かさや社会資源の豊富さに気付くことができました。

これまで学んできたことを胸に、「きぼう」をもって、将来の道を進んでいきたいと思っています。

表紙の写真は「風連トランポリンスポーツ少年団」です

風連トランポリンスポーツ少年団は、風連農村環境改善センターを活動拠点に、幼児から大学生までの22名が、それぞれの目標に向かって練習しています。団員の中には、全国大会での活躍を目指している子もいますが、トランポリンの醍醐味はやはり初めて「宙返り」が成功した時ではないでしょうか。安全に配慮しながら週3回、練習に励んでいます。



シャトルゲーム(技の付け加えて競う)で練習の成果を確認



「北海道胆振東部地震」において、亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、ご遺族の皆さまにお悔みを申し上げます。また、被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。地震の影響によりこの地方もブラックアウトを経験し「当たり前」と思っている日常は、「当たり前」ではないことを実感しました。議会だよりの発行が50号を迎えました。平成18年の合併後臨時号の発行を経て、7月に記念すべき第一号が発行されました。改めて第一号をめくってみると、新名寄市への熱い想いが伝わってきます。50号発行に感謝しながら、更なるステージを夢みています。(真)

編集後記

